

研究タイトル： **大江健三郎研究／四高旅行部研究**

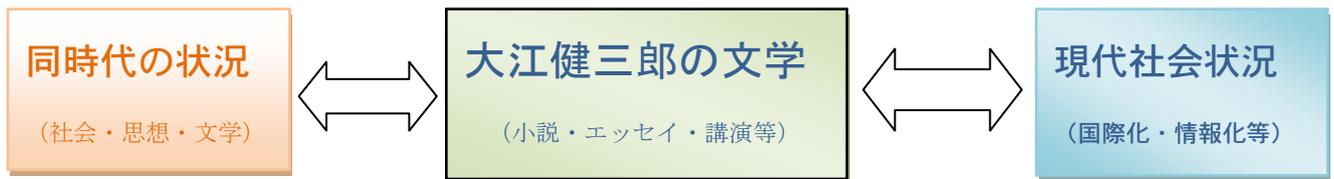


氏名：	團野 光晴 / DANNO MITSU HARU	E-mail：	danno@ishikawa-nct.ac.jp
職名：	一般教育科・准教授(国語)	学位：	修士(文学)
所属学会・協会：	日本近代文学会・日本文学協会・昭和文学会・金沢大学国語国文学会・有島武郎研究会・日本社会文学会		
キーワード：	大江健三郎・戦後・文学と同時代言説・旧制第四高等学校旅行部		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・大江健三郎及び戦後文学 ・旧制第四高等学校旅行部・登山の思想 		

研究内容：

1. 大江健三郎研究

ノーベル賞作家として世界的に著名な大江健三郎の文学について、作品分析とともに、作品発表時の社会・思想状況や同時代文学との比較においてその意義を再発見し、現代社会を考える手がかりとすることをめざします。現在は主に戦後日本の激動期である 1960 年代における大江作品の研究に当たっています。



2. 旧制第四高等学校旅行部研究

金沢大学の前身である旧制第四高等学校の旅行部は、日本最古の近代登山団体として、日本アルピニズム史に残る登山レコードを打ち立てつつ、地域に根ざしたユニークな活動を行い、教育的実践としても特筆すべき成果を残しました。その足跡は、明治・大正・昭和に渡る文化状況を如実に反映しており、日本近代文化史研究の観点からも興味深い対象です。旅行部は機関誌『BEEG=HEIL』全 13 巻を発行しており、これを通じてその活動と登山思想を知ることができるという点でも、研究対象として貴重な存在です。『BERG=HEL』は稀覯本であり、原本の全巻は金沢大学図書館をはじめどの図書館にもそろっていませんが、私の研究室でその復刻版全 13 巻を入手する機会を得ました。現在、本校紀要に連載中の論文でその内容を紹介しているところです。これを通じて四高旅行部の活動と思想を解明し、日本近代登山史・教育史・文化史に資するとともに、地域の文化・学術振興に貢献することをめざしています。



提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	